おいしさとオーガニックを　40年

NEWS 大地を守る

2015年
8月号
vol.348
8

発行：株式会社大地を守る会
千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟21階
TEL　043-380-7760　csr@member.daichi.or.jp
FAX　043-213-5513　http://www.daichi.or.jp/
～大地を守る会の活動レポート～『ブログ大地を守る』http://www.daichi.or.jp/blog/report/

大地を守る会
DAICHI wo MAMORU KAI

まだ、しもふり？

近年、「霜降り肉」とは異なる価値基準で、「赤身肉」の人気が高まっています。注目を集める理由は、味の良さとあっさりとした肉質。赤身肉は、うまみ成分であるアミノ酸がたっぷり含まれ、高たんぱくで低脂肪なのです。そこでご紹介したいのが、大地を守る会自慢の赤身肉「山形村短角牛」。かむほどに味わいが増す滋味の源には、牛本来の生態・成長に合わせた飼育方法や飼料選びがあります。山形村短角牛は、効率性や人間の都合を優先させた畜産と異なるだけでなく、循環型農業の一部も担っています。山形村短角牛をいつも食べているという人も、興味はあるけれどまだという人も、読めば赤身肉がおいしくなること間違いなし。山形村短角牛にまつわるお話のはじまりはじまりです。

赤身肉ならではの
滋味あふれるうまみ！

山形村短角牛

一粒万倍

大地を守る会
社長 藤田和芳

「水の惑星」と呼ばれる地球ですが、水の大半は海水で淡水は2.5%。しかも、その多くは南極などの氷として存在し、川や湖といった利用しやすい水は0.01%にとどまっています。水は本当に貴重なものです。私は昨年、パレスチナの難民キャンプを訪れましたが、そこに住む人々は1人1日2Lの水で生活していました。食事、洗濯、身体を洗うなどすべてを含めてです。世界保健機関などによると、ソマリアでは安全な水を入手できる人は全人口の29%しかいません。パプアニューギニアでは40%、エチオピアでは44%です。日本では水道の蛇口をひねれば安全な水が出ますが、世界では8億人以上が安全な飲み水を手に入れられないでいるのです。日本列島の約67%は森林です。しかも、日本には昔から多くの水田がありました。森林が雨を受け止め、出てきた水が地下水になる。また、森林から出てきた水を水田が使い、増幅させて再び川へ提供してきました。こうした水が私たちの家の蛇口の水となっているのです。安全な水があるのは、森林と水田があるおかげだと、私たちはもっと認識する必要があると思います。

新規入会受付中！お友だちをご紹介ください。 0120 158 183

山形村短角牛の人気の秘密は味だけにあらず!?

黒毛和牛に代表される霜降り肉は、人為的にサシを入れる牛肉。一方、山形村短角牛は、自然のなかでのびのびと育った証ともいえる赤身肉が特徴です。大地を守る会は、1981年から山形村（現岩手県久慈市山形町）の生産者と二人三脚で山形村短角牛を育ててきました。95%が山林という山形村では、人も牛も、山とともに暮らしています。夏には見上げる夜空に星が降るように瞬き、冬になると深い雪でおおわれる山形村。そんな雄大な自然のなかで育つ山形村短角牛の魅力に迫ります。

「夏山冬里」の飼育方法は牛の生命力と風土を生かして

山形村短角牛の飼育方法は、親子での放牧や牛まかせの自然交配など、生産性や効率性を重視した畜産とは一線を画しています。キーワードは、江戸時代から続く「夏山冬里」方式。春になると「山上げ」という放牧が行われ、牛たちは夏の170日間を緑のじゅうたんが広がる山で過ごします。勾配のある野山を駆け回ることで無理なく赤身が引き締まり、5〜7月には人の手を介さない自然交配が行われます。秋になり牧草がさびしくなってくると牛たちは山を下り再び里へ。子牛の体重は山上げをしたときの約2・5倍という成長ぶりです。「夏山冬里は、決して穏やかではない山形村の気候風土に合った短角牛だからこそ可能」（生産者・下舘進さん）。年を越えて厳冬期の2〜3月になると、新たな子牛が誕生するというサイクルを繰り返しています。

右／放牧地に到着。トラックから短角牛をおろします。
左／親子で放牧するのは非常に珍しい方法。

飼料は国産100%！循環型農業で畑も元気に

トウモロコシを乳酸発酵させたデントコーンサイレージ。

赤身肉が注目を集める昨今ですが、日本人の「霜降り信仰」により、和牛肉市場における評価は、依然、霜降り肉が高いまま。サシ(脂)は、濃厚飼料によって作り出されています。濃厚飼料とは、海外産のトウモロコシや大豆かすなどを含む高カロリーの飼料のことです。一方、山形村短角牛の山での飼料となるのは、牧草と山の水が基本で、子牛は、それに加えてたくさんの母乳で育ちます。冬場に里で食べるのは、非遺伝子組み換えの国産穀物です。国産穀物は、ふすまを中心に、生産者自らが育てている干し草と栄養価の高い高たんぱくのデントコーン、近くの農家からいただいている稲わらなどです。畑で育てた飼料を牛が食べ、牛の堆肥で畑に栄養を与える循環型農業を続けています。

ルーツは南部赤べこ大きく丈夫に育ちます

旧南部藩時代に沿岸と内陸を結ぶ「塩の道」で荷物を運んだようすの再現。

岩手県を中心に飼育されている短角牛は、日本で飼育されている和牛の0・5%にすぎない「幻の和牛」。そのルーツは、傾斜の強い山間で生まれ育った南部赤べこです。民謡の南部牛追唄は、荷物を運ぶ南部赤べこを追いながら歌われたものだとか。明治になると、南部赤べこは輸入牛のショートホーンと交配され、短角牛が誕生します。短角牛は、黒毛和牛に比べて母乳が多く、骨や内臓など体そのものが丈夫。「黒毛和牛を夏山冬里で育てても同じようには育ちません」（生産者・下舘進さん）。短角牛だからこそ母乳と草だけで大きく丈夫に育ち、冷涼な風や暑さ寒さなどの厳しい自然環境にも適応します。

岩手県久慈市×和食シェフがコラボ！ 山形村短角牛のお弁当ができました

6月から山形村短角牛を使用したお弁当、短角三昧「和の饗宴」の販売を開始しました。岩手県久慈市と超人シェフ倶楽部所属の和食シェフがコラボし、大地を守る会・新岩手農業協同組合・久慈市で立ち上げた会社「総合農舎山形村」が製造。コラボ企画のテーマは「日本の食・新発見と再発見」です。希少種である山形村短角牛の魅力を伝え、地方の活性化を目的としています。5月26日には山形村から生産者も駆けつけ、プレス向け発表会を行いました。和食のシェフが腕を振るったお弁当を、皆さんもぜひご賞味ください。

お弁当やシェフ、久慈市についての冊子付き。

商 品 名： 短角三昧「和の饗宴」
価　　格： 2,500円(税込)
販売期間： 6～8月(金・土・日曜日の限定販売)
販売場所： DAICHI銀座三越店(銀座三越地下2階)
※お弁当とは別に、山形村短角牛を使用したお惣菜3種もご用意しています。

和食のプロも虜にする赤身肉のうまさとは？

牧草を食み、野山を駆けて育つ山形村短角牛。牛肉本来の力強い味わいがあり、しなやかに引き締まった赤身は、みずみずしささえ感じられるほどです。赤身肉は、これまで肉食文化の長いイタリアンやフレンチから支持されてきましたが、その実力は和食でも認められるようになりました。「霜降り肉に比べて筋肉が多いからか、アミノ酸がつくり出す赤身のうまさが絶品」(中嶋貞治さん)、「良質な脂とうまみにほれました。たくさん食べてもももたれないすごい食材です」(舘野雄二さん)、「うまみがありながらしつこさがない。メニューの創作意欲が刺激されます」(山口利和さん)と、和食のプロも太鼓判。一口食べれば、かむほどに味わいが増す滋味の豊かさに驚くはずです。

「加賀料理 杉の家 やまぐち」店主 山口利和さん

「みちば和食 銀座 たて野」店主 舘野雄二さん

「新宿割烹 中嶋」店主 中嶋貞治さん

時代や流行にとらわれず安心して食べられる牛肉を

山形村と大地を守る会が提携を始めた1980年は、効率性や生産性を重視した畜産業が隆盛を迎えていた時代です。大地を守る会は、そんな畜産業に疑問を抱いていました。山形村は、近代化の波にのまれる直前に大地を守る会に出会い、自分たちの畜産に新たな視点で価値を見いだしたといえます。山形村短角牛を通じて村と丸ごと付き合うなかで育まれた食を支える関係性は、時代が流れても変わることはありません。その関係性は、かつて時代遅れに見えていたかもしれませんが、循環型農業やスローライフが求められる今では、最先端を行くものに映るのではないでしょうか。ただそれは、外からそう見えるだけのこと。生産者は時代や流行にとらわれず「安心して食べられる味の良い牛肉を届けたい」という想いを胸に、今日も山形村短角牛を育てています。

村と丸ごと付き合い35年 強い関係性が明日への希望に

山形村と大地を守る会との出会いは35年前にさかのぼります。当時、大地を守る会は小さな団体でしたが、安心して食べられる赤身肉を都市生活者へ届けたいという気持ちが通じて提携が始まりました。そのとき山形村と大地を守る会が約束したのは「村と丸ごと付き合う」こと。単に商品の取引をするだけではなく、人と人との付き合いをし、継続的に買い支える関係です。産直から間もなく始めた交流ツアーイベントは、現在でも春・夏・冬と年3回を継続中です。「BSEのときも口蹄疫のときも震災のときも休まずに交流会が続いています」(生産者・下舘進さん)。「交流会で聞く『おいしい』『ありがとう』の言葉が励みになります。山形村で食べる短角牛は格別ですので、ぜひ足を運んでください」(生産者・中屋敷稔さん)。

TPP問題に翻弄され、輸入飼料の価格の高騰やBSEのリスクといった安全性基準緩和などの問題に直面する日本の畜産業ですが、TPPに対抗できるのは、山形村と会員の皆さんのような「強いつながり」かもしれません。

年3回の交流ツアーイベントは大人気。リピーターが多いのも特徴です。

下舘進さん

中屋敷稔さん

山形村短角牛の味覚は ふるさと納税の記念品でも味わえます

短角三昧「和の饗宴」の製造元である総合農舎山形村は、食肉製品の製造・販売だけでなく、久慈市のふるさと納税に商品を提供するなど、地域貢献に力を入れています。現在4つの商品をふるさと納税の記念品として選択できます。山形村短角牛を味わって、久慈市を応援してくださいね。

久慈市ふるさと納税のお申込みはこちらからどうぞ
http://www.city.kuji.iwate.jp/seisakuka/kikaku_g/information.html

▲スマートフォンはこちら

大地を守る会の生産者が、ある一日のできごとや想いを綴ります。

作り手日記

3ページ

柿木敏由貴さん（岩手県久慈市山形町）

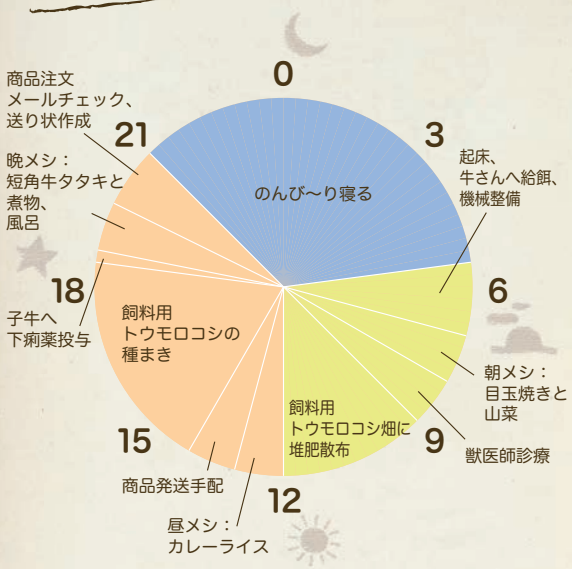
山形村短角牛生産者。1頭1頭に愛情を注ぎながら育てています。最近、歌舞伎の片●愛之●さんに似ていると言われてから、彼が気になるようです。

a 北海道犬の子犬（♀）を譲られ、毎日癒されています。名前は「はな」です。

b 放牧場のようす。やはり気持ちいいですね。

c トウモロコシの芽が出てきました。収獲するときのことを考えて、収穫機が作業しやすいように種をまいています。

5月27日（水）



放牧を終え、牛舎の仕事も減り、畑仕事の最盛期。牛さんの飼料になるトウモロコシの種まきをしました。牛堆肥の栄養でトウモロコシが育ち、それを牛さんが食べて育ちます。すべてつながっているので、どの作業も大切です。

牛さんのリズムを大切に育てます

山形村短角牛は飼料も生産者が育てます。今年も飼料のトウモロコシの成長は順調。畑仕事が終われば、次には乾草作りの作業が待っています。牛さんはおいしい食べ物を食べて、おいしく育ってくれると考えているので、私たちは飼料作りも真剣。そして、そんな健康な牛さんを食べれば、食べた人にも良い影響があると信じています。牛さんも人も、食べたもので身体ができるのですね。

短角牛を育てる上で、「何をするか？」ではなく「何をしないか？」を意識しています。一年のなかで、牛さんが無理なく育っているので、人間の都合で何かをするのは極力減らしてきました。効率も大事ですが、省略してはいけない時間があるので、知識と経験を元に見極め、自然のリズムを大切にしています。多くを生産することはできませんが、だからこそ私たちの想いを理解し、おいしく食べてくださる方に心を込めてお届けしたいのです。それから、「どこかの誰か」より「あの人」が食べていると意識した方が、より具体的に生産物に対しての責任感や思いやりが持てますね。久慈市でも東京でも、イベントには極力参加し、消費者の皆さんと話したいと思っています。

大地を守る会のオススメ映画

『ソ満国境　15歳の夏』

―人として　語り継ぐべきことがある―

8月1日（土）より、新宿K's cinema などでロードショー

次の世代に伝えたい感動の実話

日中戦争下、ソ連と満州の国境近くに勤労動員として送られた新京第一中学校の生徒たち。1945年8月、ソ連軍の爆撃が降り注ぐ中、ソ満国境に取り残され、過酷を極める必死の逃避行が始まった……。原作は田原和夫「ソ満国境　15歳の夏」。10年の時を経て完成した感動作。これからを生きる子どもたちにも伝えたい作品です。

■公式サイト　http://15歳の夏.com/

監督：松島哲也／プロデューサー・編集：宮澤誠一／原作：田原和夫「ソ満国境15歳の夏」（築地書館）／出演：田中泯、夏八木勲、他／製作：「ソ満国境 15歳の夏」製作委員会／2015年／カラー／デジタル／94分

©「ソ満国境 15 歳の夏」製作委員会

大地を守る会創立40周年記念特別テレビ番組放映中！

vol.03

BS フジ
毎週土曜あさ
8:00〜8:25

大地にカンパイ

一流シェフや著名人の方々が、大地を守る会の生産者の畑を訪問し農作業を手伝いながら、農業に対する想いやスゴい技などを教わります。番組の後半では、収穫したばかりの新鮮な野菜や果物を使ってシェフが腕を振るい、生産者やその家族に料理を振る舞います。おいしさの秘密や人柄、そして素材の味を存分に生かした料理の感動的な美味をお伝えします。

YouTubeでもご覧いただけます
→「大地にカンパイ」で検索！

※放送回によっては、ご覧いただけない場合もあります。ご了承ください。

7月4日放送のゲストは、具志堅用高さんとレッド吉田さん。さんぶ野菜ネットワーク・富谷亜喜博さんのニンジン畑を訪れました。お料理「ニンジンの葉のかき揚げ」「ニンジンしりしり」を前にカンパイ！

次回のオンエア　8月8日（土）
具志堅用高さんとレッド吉田さんが、千葉畑の会・内田さんのスイカ畑を訪問します。ぜひご覧ください！

手島奈緒（てしまなお）　vol.9

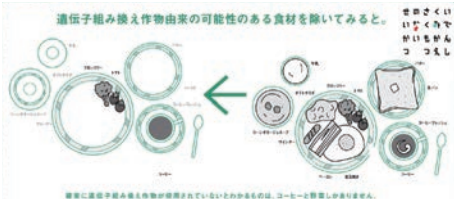
鳥取県生まれ。大地を守る会元社員（広報・青果担当）。2010年「ほんものの食べものくらぶ」を設立、食べる人と作る人をつなぐ活動に取り組んでいる。著書に『いでんしくみかえさくもつのないせいかつ』（雷鳥社）、『まだまだあった！知らずに食べている体を壊す食品』（アスコム）。

「遺伝子組み換え作物」がどれくらい輸入されているのか？ どれくらい食品に使われているのか？
1カ月間、遺伝子組み換え食品のない生活に挑戦した著者が、遺伝子組み換え作物についてわかりやすくお知らせします。

今日食べた物のなかに遺伝子組み換え食品はあるかしら？

「食べていないつもりでも思い切り食べている」それが遺伝子組み換え食品ですが、理由は表示義務のないものが多いことにあります。「アタシ食べてないから大丈夫」と言う人と話してみると、かなり食べていることがわかります。遺伝子組み換え作物については、食品表示のルールや食べ物が何で作られているかなどの知識がないと、排除することはかなり難しいのです。

では、どんなものが遺伝子組み換え作物で作られているのでしょうか。まず、トウモロコシが原料のデンプン、デンプンを原料として作られる加工品（糖類・異性化糖・甘味料・アミノ酸等の調味料・デキストリンなどの食物繊維・コーンスターチ）、その他、植物油（菜種・大豆・トウモロコシ・綿）、牛豚鶏の飼料などがあげられます。これらはほとんどの市販の加工品類に含まれていますが、表示義務がないため表示はされていません。畜産飼料についても同様です。



確実に遺伝子組み換え作物が使用されていないとわかるものは、コーヒーと野菜しかありません。

「食べたくない」と考え、加工品を裏返してためつすがめつ表示を眺めてみても、「遺伝子組み換え」とはどこにも書いてありません。法律で書かなくてもいいと決まっているのですから、書いてあるはずはないのです。

上記のものが含まれている食品を、一日だけでも排除してみてはどうでしょう。私たちの豊かな暮らしが、実は遺伝子組み換え作物に支えられていることが見えてきます。そして、なぜ食べなくてはならないのか、考えるきっかけになるかもしれません。

GLOBAL REPORTS

写真提供：NPO法人シャプラニール

DAFDAF基金
ネパール大地震被災者長期支援のお願い

4月25日、ネパールの首都カトマンズ北西部を震源とする地震の被害者は、死者数8,000人以上、負傷者数17,000人以上ともいわれています。また、相当数の人々が住む家を破壊され、仕事を失いました。大地を守る会はお付き合いのあるネパール関係団体3か所に対し、4月30日にDAFDAF基金から緊急支援金を拠出しました。今回は長期的復興に使用するための支援を募ります。（国際局　豊島洋）

左／住民たちにより、全壊した家屋の整理が続けられています。全戸が全壊した地域もあります。カトマンズ南西のキルティプールにて。右／支援物資の仕分けを手伝う地元の若者たち。シャプラニール　カトマンズ事務所にて。

学校敷地内に建てられているあずまやのような場所に避難している人々。3畳程度のスペースに布団を敷きつめ、4人が生活をしています。衛生状態の悪化を防ぐことが急務です。カトマンズ北部ダルマスタリにて。

長期支援にご協力を！

大地を守る会はお付き合いのある関係団体「特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会」「特定非営利活動法人ラブグリーンジャパン」「有限会社ネパリ・バザーロ」に対して、4月30日付でDAFDAF基金から20万円ずつ緊急支援金を拠出しました。各団体は急きょ、スタッフを現地へ派遣して被災状況を確認し、有効な支援方法を検討、実施しています。各団体からの報告で共通していることは、ネパールは日本と異なり、このような大災害に即応する体制ができておらず、公的な避難所などがないことです。ビニールシートを利用して簡易テントを張り、生活している人もたくさんいます。一方、NGOなどの動きは素早く、それぞれの活動地域で必要な支援策を現地のスタッフと話し合い、テントや毛布、食料などを配布しています。

雨季に入り、当面の生活を送るための居住スペースの確保が緊急の課題となっています。ネパール政府の発表では、家を失った人々に対して仮住居の建設費用を支給し、2年以内にインフラを復旧させるとのことですが、詳細は未定です。大地を守る会は関係団体の被災者支援活動に賛同し、その長期支援を行うための寄付を募ります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

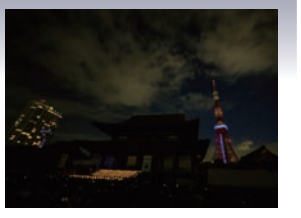
DAFDAF基金　ネパール大地震被災者長期支援

- **受付期間**
  2015年8月3日（月）～10月3日（土）
- **受付方法：**注文書No.134（8月10日～8月14日ご提出）～No.141（9月28日～10月2日ご提出）の特別注文欄に、注文番号と口数をご記入ください。

  注文番号：2480　1口：500円
  ※何口でもご支援いただけます。
- **お問合せ窓口：**大地を守る会国際局
  住所：千葉県千葉市美浜区中瀬1－3　幕張テクノガーデンD棟21階
  TEL：043-380-7760　**FAX：**043-213-5513
  Email：csr@member.daichi.or.jp

13年目の「スローな夜」
100万人のキャンドルナイト@増上寺を開催しました。

今年の「100万人のキャンドルナイト@増上寺」は、5,500人もの方が足を運んでくださいました。境内のマルシェやフードエリアには、生産者自慢の逸品やオーガニック食材を使ったメニューがずらり。また、今回の新企画、GAKU-MCさんプロデュースの「アカリトライブステージ」ではトークやライブが行われました。日中雨が降ったり止んだりを繰り返していましたが、明星学園の皆さんによる和太鼓がメインステージの幕を開けてからは雨雲もどこかへ。moumoonさんに続いて、日が沈み始めるころには藤巻亮太さんの歌声が響きました。20時にはカウントダウンをして東京タワーが消灯。幻想的な雰囲気のなか、田島貴男さんのパワフルなライブでしめくくりです。今年もたくさんの笑顔があふれた1日になりました。



みんなでカウントダウンをして、20時に東京タワーが消灯。

＼出演直前／ アーティストインタビュー

田島さん曰く、「夜はお客さんの心の開き方も違います」。

田島貴男さん

音楽にとって暗闇は自然な場所

キャンドルナイトは初めてですが、古代の儀式的な雰囲気で、エスニックなイベントだと感じます。純粋にキャンドルの前で歌うのは気持ちよさそうです。夜は周囲が見えない分、聴覚が敏感になって音のカタチが見えてきます。だから、音楽にとって暗闇は自然な場所かもしれません。ふらりと立ち寄った人にも聴いてもらえたらうれしいです。

「あったかい時間になればいいな」とmoumoonさん。

moumoonさん

思いを込めて、心に灯りを

昨夜は、お天気を願って自宅でキャンドルをともして、てるてる坊主にお願いをしました。今日は、月夜に好きな人を思う曲や新曲などを披露する予定です。キャンドルをともすときは、人が思いを込める瞬間かもしれません。エネルギーのことでも食のことでも、何か一つ思いを持って心に灯りをともすきっかけになればと思います。

藤巻さんは、「雨上がり」にぴったりな曲も披露。

藤巻亮太さん

音楽にはみんなをつなげる力がある

以前、福島のイベントでキャンドルをともして歌ったことがあります。灯りを囲んでみんなが一つになるのがいい時間で、その経験が今回の参加につながりました。お寺は、人がカタチを超えてつながる場所。音楽にも同じ力があると感じています。東京タワーを背景に空の色が変化して、キャンドルの灯りが揺れて……、いい雰囲気になりそうで楽しみです！

「曲は天候や会場の雰囲気を見てその場で決めます」とGAKU-MCさん。

GAKU-MCさん

灯りが歌をみんなに届けてくれます

キャンドルと音楽で心をつなぐイベント「akali to live（アカリトライブ）」を国内外で続けています。キャンドルの灯りは、舞台照明としても優れているんですよ。人と人との距離を近づけてくれ、歌もより良くみんなに届く気がします。忙しい日常で忘れている大切なことを思い出せるような時間をみんなでつくっていきたいです。

大地を守る会の自然住宅
深呼吸を誘う家づくり

「安心な食べ物と同じように、安心な住宅を」という思いを胸に、大地を守る会では、2003年から家づくりに取り組んでいます。世の中では、自然素材をうたう住宅が人気を集めていますが、果たしてその実態とは。木を使っていれば自然素材？　見た目が同じなら居心地も大差ない？「自然」に見えながらも、実は化学的な物だらけの住宅事情に迫ります。

一日に「食べる」空気は食べ物の10倍!?

人が1日に体に取り込む空気の量はどのくらいでしょうか。答えは、1日約20kg（※1）です。その量は、1日に摂取する食べ物の量約2kg（※2）の10倍に当たります。これだけたくさんの量を自分の体内に取り込んでいるものの、食べ物ほどは、空気のことを意識していないのではないでしょうか。

私たちが長い時間を過ごす住宅内の空気の質は、壁や天井、床などと無関係ではありません。野菜がどのように育ったか、鶏が何を食べて大きくなったかを気にするように、住宅がどんなものでつくられているかを考えてみましょう。

見た目はそっくり？自然素材「風」にご用心

住宅に使われている木材は、無垢材などの「自然素材」か、人工的につくられた「新建材」かに大別されます。無垢材とは、1本の原木から角材や板を切り出した木材のこと。一方、新建材は、板を接着剤で張り合わせた「合板」や「集成材」、木材を繊維化してから樹脂で固めた「ファイバーボード」などです。工業技術が進歩し、新建材のなかには自然素材と区別がつきにくいものも。いわば自然素材「風」の新建材もあるのです。

新建材が広まった理由には、その扱いやすさがあります。木材は一般的に季節や温湿度によって、そりやねじれが発生しやすいものですが、合板や集成材は、でき上がりの寸法に誤差が生じにくいのが特徴です。また、取り扱いの難しい無垢材と比べて、職人の技を必要としないため、作業の手間がかからず、家づくりのコストを抑えることに直結します。

とはいえ、良い点ばかりではありません。新建材の製造過程で使用する接着剤や樹脂といった化学物質の人体への影響は大きな問題です。皮肉なことに、「新築の香り」と感じるのは接着剤のにおいであることもあるようです。化学物質は、すぐに健康に悪影響を及ぼすものではないかもしれません。ただ、シックハウス症候群や化学物質過敏症の原因の一つが、新建材の住宅であることは忘れてはならない現実です。

「自然ではないもの」が人に悪影響を与えるのは、食べ物も住宅も同じこと。たとえば、化学肥料で育てた野菜と、米ぬかや魚粉、牛糞などからなる自家製肥料で育てた野菜。たとえば、農薬や除草剤を使って育てた米と、合鴨に虫や草を食べてもらって育てた合鴨農法の米。あなたは、どちらを安心しておいしく食べられるでしょうか。農薬や化学肥料に頼らず野菜や米を育てるように、化学物質に頼らない家づくりが大切です。

国の基準に惑わされず住まい手が判断する力を

新建材による健康被害が深刻化したことから、2002年、厚生労働省が13種類の有害化学物質を定めました。翌年には、建築基準法が改正されホルムアルデヒドを発散する建築材料の使用制限とクロルピリホスの使用が禁止に。合わせて換気設備の設置が義務付けられました。しかし、この措置は、膨大な数の化学物質のごく一部を規制したに過ぎません。

住宅の壁や床の仕上げ材に含まれるホルムアルデヒドは、国によって一定の基準が設けられたわけですが、だからといって安心できるのかというと、それはまた別の話です。その発散量は、ホルムアルデヒドの頭文字「F」と☆の数で表され、建材にマークが表示されます。最も発散量が少ない「F☆☆☆☆（エフのフォースター）」が表示されていると、まるで安全のお墨付きのように感じますが、ホルムアルデヒドの発散量が「少ない」だけで「ゼロ」ではありません。し

まっとうな家づくりは野菜作りとそっくり。なるべく自然のもので、という視点で家づくりを考えてみましょう。

かも、使用面積の制限は一切ありません。発散量が「少ない」ものであっても広い面積で使用することで、結果的にホルムアルデヒドの発散量は「多く」なってしまいます。

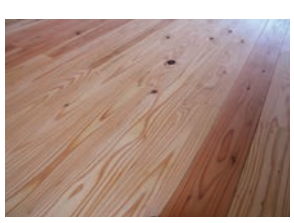
現代の住宅は気密性が高く、住宅内の空気は動きづらいもの。朝、窓を閉め切って夜まで出掛けることを想像してみましょう。換気設備の設置が義務付けられているとはいえ、家の中の空気が十分に入れ替わるかは大いに疑問です。

住宅に使われる化学物質の存在は、食べ物に使われる食品添加物によく似ています。食品添加物とは、食べ物の見た目を良くするための着色料や、人工的なうまみ成分……。書ききれないほど多種多様な食品添加物があり、世の中の食べ物は添加物だらけ。ある添加物を規制しても、新たな添加物がすぐに現れます。食べ物も住宅も、「国が基準を設けているから安心」と判断するのは危険。住まい手自身が想像力を働かせること、判断する力を身に付けることも大切です。

長く暮らして味わいが増すエイジング効果

新建材がそうであるように、自然素材にもメリットとデメリットがあります。自然素材は、建物の一部になってからも細胞の小さな穴を通じて調湿性が働き続けます。まるで家が呼吸をしているかのように、湿度の高い日には湿気を吸い、乾燥した日には水分を放出して室内を爽やかに保つのです。この調湿作用によってわずかな膨張や伸縮を繰り返しますが、これは自然素材ならではの特性。建具が開閉しづらくなったり、梁の表面にひびが入ったり、反りが発生することもあります。このような変化を完全に防ぐことはできないものの、強度に影響はなく、もちろんメンテナンスも可能。自然素材の特性を理解することで、より心地良く住まいと付き合うことができます。

新建材でつくられた家の美しさはできあがったときがピークですが、自然素材の家は、歳月を味方につけて味わいを増していきます。新築のころは、無垢材の床や柱につくキズは、目立って気になるかもしれません。ただ、暮らしのなかで重なっていくキズは、やがて風合いに変わっていきます。それは、いわば自然素材の家のエイジング効果。時間を重ねるとともに、住まい手の暮らしに寄り添って、愛着がわく住まいへと育つのです。家族が行き交うフローリングの廊下が飴色につやが出てきたり、天井や柱、家具の色が少しずつ変わるなど、住まいの変化を楽しむのもいいものです。



壁をつくるのも野菜をつくるのと同じように

ここまで建材について掘り下げましたが、壁材も同様です。壁材に多く使われるビニルクロスは、有害な化学物質を含むポリ塩化ビニルを原料としたものが多く使われています。施工の際には合成接着剤も使われます。また、自然素材の塗り壁材として最近人気の珪藻土や漆喰などにも、より塗りやすく固まりやすくするために、合成接着剤や樹脂成分などの化学物質が含まれているものもあります。

大地を守る会の自然住宅は、壁紙には和紙のほか、綿や麻の布、ウッドチップを入れた再生紙の壁紙を使用しています。また、塗り壁は、調湿性の高い漆喰や珪藻土に、麻スサや海藻糊などのつなぎを加えて安全性を保っています。

化学物質の代わりになるべく自然のものに置き換える、というまっとうな家づくりは、化学肥料や農薬の代わりに自然のものを使う有機農業と、同じ考えをもっています。

つくり手と住まい手が積極的に参加する家づくり

自然素材さえそろえれば、自然素材の家が立つかというとそうではありません。近年、効率性や生産性を重視した家づくりが増えるとともに、のこぎりをまったく使わずに住宅を立てる大工が増えているとか。これは、まるでプラモデルのように工場でパーツを準備して、現場で組み立てる工法が広まっているためです。

大地を守る会は、家は「買う」ものではなく「つくる」ものと考え、製材店や工務店、大工、左官工、畳職人、庭師など、家づくりのプロたちとの、顔が見える関係を築くことを心がけています。

大地を守る会の自然住宅は効率性を重視したものではないため、新築の場合、着工から引き渡しまでを「とにかく短期間で」という住まい手には不向きかもしれません。住まい手が、木を選び伐採するほか、作業場を見学する時間を設けている工務店もあります。このような機会を通じて、住まい手にも積極的に家づくりに関わってもらい、家づくりの過程も一生の思い出になればと考えています。

「空気がさわやかで気持ち良い」、「木の香りに安らぎを感じる」、「ぬくもりがあって心が落ち着く」。大地を守る会の自然住宅で暮らす皆さんからは、こんな声が寄せられます。農薬に頼らない食べ物と同じように、化学物質に頼らない家を届けたい。そして、「本物」の自然素材の家をつくることで、林業という第一次産業を守り育てていきたいと、大地を守る会は考えています。

衰退した日本の林業を守り育てるために

日本の居住専用住宅の多くは木造住宅で、その割合は約81%を占めます(※3)。住宅に欠かせない木材はどこからやってくるのでしょうか。日本は国土の約7割が森林でありながら、外国の森林から多くの木材を得ている木材輸入国です。その背景には、1964年の木材輸入自由化があります。海外で伐採された安価な木材の需要が高まり、国産材の価格が高騰。自給率が急速に下降して、2002年には18・2%まで落ち込みました(※4)。国産材が使われないことで、日本の林業は衰退したのです。

住宅の多くに使われている海外の木材は、船で長い距離を旅してきますが、腐敗や虫が付くのを防ぐため防腐処理と防除処理が施されています。木材に染み込んだ薬剤が人間にどのような影響を及ぼすかは疑問が残ります。また、国内産であっても防腐処理がされていない木材は一部だけであることを覚えておきたいものです。

※1 出典:国立研究開発法人産業技術総合研究所 呼吸率
※2 出典:厚生労働省 平成24年国民健康・栄養調査
※3 出典:国土交通省 平成26年建築着工統計
※4 出典:林野庁 木材輸入量(用材)の推移

見学会や講座を開催! ぜひご参加ください。

自然住宅チームでは、見学会や講座を年間で40〜50回開催しています。家づくりに興味はあるけれど、まだまだ先のこと……という方もお気軽にご参加ください。自然素材に触れながら魅力を体感する森林伐採や椅子作りなどのクラフトイベントを幅広く企画しています。また、本格的に家づくりを検討している方に向けた、資金計画講座や土地探し講座、完成見学会なども行っていますので、ぜひご家族そろってご参加ください。

家づくりを検討している人だけでなく、自然素材の木とふれあうことを目的とした講座もあります。

毎月発行の「My home Sweet home」では、自然住宅チームが書き下ろしたコラムや工務店さんのお仕事拝見コーナーなどが盛りだくさん。ときには職人さんたちのお昼ごはんをご紹介することもあります。講座のリポートも掲載していますのでチェックしてみてください。

http://www.daichi-m.co.jp/housing/colum/

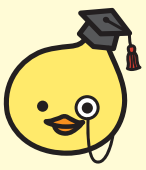
だいぷくと一緒にいろいろ発見しよう！

大地を守るこどもニュース

今月のやさい［高原野菜］

旬の食べ物の質問に答えるよ。
食べたことはあるかな？

高原野菜は、ほかの野菜となにがちがうの？



夏でも涼しい高原の気候を生かして作られる野菜が「高原野菜」です。レタスやキャベツ、白菜、セロリなどは、涼しい気候が好きな野菜。平地では、夏以外の季節は育てられますが、夏は暑すぎて育てられません。そこで、夏は涼しい高原で育てるのです。このような野菜を「高原野菜」と呼んでいます。

また、高原では冬の間は寒すぎるため、作物の栽培ができません。農家の人たちは、遅くやってくる**春の時期に種をまき、苗を作り、主に夏に収穫**を行います。短い間に出荷の作業をするので、早朝から畑に出かけ、夜は眠い目をこすりながら野菜の荷作り。そして、短い栽培期間で、できるだけたくさんの野菜を作ろうと努力しています。

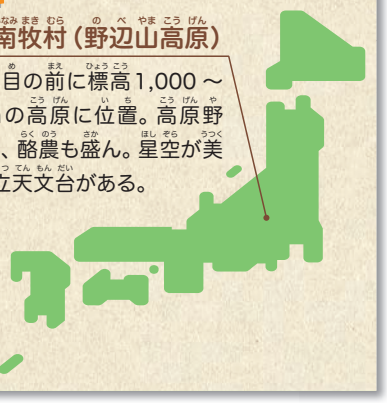
夏にレタスの入ったサラダを食べることができるのは高原野菜のおかげ。

高原野菜をつくる人

大地を守る会の生産者からメッセージが届いたよ！

生産地
長野県南牧村（野辺山高原）

八ヶ岳を目の前に標高1,000～1,500ｍの高原に位置。高原野菜の他に、酪農も盛ん。星空が美しく、国立天文台がある。



青野勝さん・美紀さん

1年分のエネルギーを短い夏に

野辺山高原では、8月のお盆を過ぎると秋風が吹きます。高原の夏は一瞬。夏の間に野菜作りを行うので、私たちは1年分のエネルギーをこの夏にそそぎ、大地と向き合い、レタスやキャベツを育てます。農薬や化学肥料に頼らず、畑には害虫を食べてくれるクモやテントウムシ、そしてカエルも顔を出し、一緒に野菜作りをします。

酪農家でもある青野さん。畑で忙しい夏も、牛は休んでくれません。朝4時半から夜8時まで仕事をします。

大地を守るコトバ

第一次産業（日本では、農業・林業・漁業のこと）に関するコトバを解説するよ！

【 適地適作 】

「適地適作」は、その場所の気候や土に合った作物を育てること。たとえば、八ヶ岳野辺山高原の年間平均気温は6.9℃で、真夏でも涼しい場所です。ここに暮らす農家の人たちが「この場所に合った作物はないか」と研究したところ、涼しい場所が好きな白菜や大根が合うことがわかりました。1960年ころから生野菜がたくさん食べられるようになると、レタスやキャベツなどもたくさん作られました。高原野菜も「適地適作」なのです。

八ヶ岳のふもとにある青野勝さんの畑。

クイズ

できるかな？大地を守る会のクイズに挑戦してみよう！

JRの駅のなかで、一番標高の高いところにある駅は？

①野辺山駅（長野県南牧村）
②清里駅（山梨県北杜市）
③甲斐大泉駅（山梨県北杜市）

答えはこのページの一番下にあるよ。

交流ひろば

みんなのお便りや写真を紹介するよ！

次回の井上弯子さんの料理講座は10月10日に予定しています。詳しくは『イベント大地を守る』（9月7日週配布）を見てください。

渡邊咲心さん（小学3年生）からお便りが届きました。

2014年11月29日、「井上弯子さんのベジタ講座～和の料理・基本のキ」（企画：割烹着の会）に参加した、渡邊咲心さんからお便りが届きました。井上さんからだしまき卵の作り方を教えていただいた咲心さん。おうちでも練習したそうです。

だしまき卵が上手に作れるようになりました

巻くところが難しいです。ガスコンロのとなりを空けておいて、火加減を調節しながら巻いていきます。ベジタ講座で初めて作ったときは、真っ黒になってしまいましたが、今は焦げなくなりました。

みんなからのお便り・写真を待ってるよ！

みんなの知りたいことやこのページの感想、大地を守る会のイベントに参加したときの写真など、なんでもOKです。

●連絡便　クリアファイル（注文書ケース）に入れて、連絡便でお送りください。
●郵送　〒261-8554 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟21階 NEWS大地を守る編集部　あて
●メール　csr@member.daichi.or.jp

※送っていただいたお便りや写真は返却できません。誌面に掲載させていただく方のみ、編集部よりご連絡させていただきます。ご了承ください。

クイズの答え：正解は①。標高は野辺山駅1,345.67m、清里駅1,274m、甲斐大泉駅1,158m。①から③はすべてJR小海線にある駅です。小海線は、山梨県北杜市の小淵沢駅から長野県小諸市の小諸駅までを結ぶJR東日本の鉄道路線です。「八ヶ岳高原線」の愛称があります。

大地を守る会
DAICHI wo MAMORU KAI

イベント大地を守る

大地を守る会の理念に沿って、食と暮らしに関する多様なイベントを企画してご紹介します。
これまでのイベントのレポートなどは大地宅配ホームページでもご覧いただけます。http://www.daichi-m.co.jp/

8
2015年8月号

No.01 〈里山体験〉野菜作りから～夏野菜カレーを作って食べよう！

《東京駅発着》天ぷらバスで行く・ハーブ畑へ日帰り旅&農業体験 ～9月～

有機ハーブ畑を訪れ、日帰りで農業・里山を体験できる連続企画（全2回）です。訪問先はハーブ生産者・ハーブスマン'Sの畑。ハーブスマン'Sは有機栽培をベースに、種の自家採種、太陽光と風乾による自然乾燥など、こだわりの生産をしています。2回目となる今回は、前回植えた夏野菜を収穫し、屋外でカレーの自炊調理を体験します。食後は里山やハーブ畑をお散歩してのんびり過ごします。前回参加していなくても、今回のみの参加も可能です。
※屋外調理等は、自然と共に生きる知恵と心を伝えるNPO法人・アースマンシップにご協力いただきます。

ハーブについてたくさん知ることができます。

2015.9.19(土) 7:45－18:00

●**訪問先**…ハーブスマン's・福山久之さんの畑（茨城県行方市長野江）※東京駅・鍛冶橋駐車場にて7:45集合、18:00解散（予定）●**駐車場**…なし ●**講師**…ハーブスマン's・福山久之さん、アースマンシップのスタッフ ●**参加費**…大人8,000円（中学生以上）、子ども（小学生以上）5,000円 ●**定員**…40名 ●**受付締切**…9月4日（金）●**お問合せ**…CSR推進部・秋元、鈴井

※企画：（株）大地を守る会
※募集型企画旅行：（有）リボーン
東京都知事登録旅行業第2-4850号

行程（予定）
7:45 東京駅・鍛冶橋駐車場に集合→11:00 現地到着（茨城県行方市）→夏野菜の収穫、昼食準備・調理～ →12:30昼食→ハーブ畑や里山の散策→15:00 現地出発→18:00 東京駅・鍛冶橋駐車場で解散
※東京駅から現地までは、（有）リボーンの通称「天ぷらバス」を利用します。これは家庭で使用された廃食油を回収・リサイクルした燃料「BDF」100%で走る観光バスで、移動中に排出されるCO2を大幅に削減しています。

No.02 ウエカツのおさかな連続講座～学ぼう！さばこう！食べよう！

だいちサークルイベント

1回目「さばきの仕組み」さばいて食べよう！ 2回目「料理の仕組み」学んで食べよう！

メディアでの露出度も高い"ウエカツ"の愛称でおなじみ、元水産庁の上田勝彦さんの連続講座(全2回)です。これまで魚をさばいたことがない方でも簡単にできるようになりますよ！ 1回目は、アジやサバを使い「さばきの仕組み」を学びます。2回目は、もったいナイ魚を使った料理で「料理の仕組み」を学びます。ウエカツさんの講座は「なぜ、そうするのか？」という理由が明確でわかりやすく、料理も簡単で、すぐに身につくような内容になっています。楽しくおいしく学べるウエカツさんの連続講座、ぜひお越しください！

美味しいおさかな料理

2015.9.12(土) 10:30－14:00　2015.11.21(土) 10:30－14:00

●**会場**…高津市民館（川崎市高津市溝の口1-4-1ノクティ2　11階）※JR武蔵溝ノ口駅、または、東急溝の口駅東口より徒歩2分 ●**駐車場**…なし ●**講師**…元漁師、元水産庁職員・上田勝彦さん ●**参加費**…各回2,500円（合計5,000円） ●**定員**…20名 ●**受付締切**…8月21日（金） ●**お問合せ**…CSR推進部（担当：おさかな喰楽部・細見、上田）

※連続講座になりますので、両日ともにご参加いただける方のお申し込みに限ります。
※主催：港北大地サークル、おさかな喰楽部、エコ研究所

講師 上田勝彦さん

長崎大学水産学部卒業後に漁師になる。水産業の厳しい現状を中央に伝えるため1991年水産庁に入庁。力強いしゃべり口調でわかりやすい解説で人気を博する。「林修のいまでしょ！講座」「キッチンが走る」に出演。現在は水産庁を退職、魚の伝道師としてさらなる極みを目指す。

No.03 アトピーに向き合う生活講座

あきらめないで！！アトピー～第3回

講師の田中伊都子さんは、アトピーを持つわが子のために「ヒトが本来持っている自然治癒力を高める」ことを研究しました。経験と理論に裏付けされた、免疫力を高めていくライフスタイルのお話です。今回は、基本のお話も含め、睡眠と食事が身体にもたらす影響についてお話しいただきます。

講師の田中伊都子さん

2015.9.15(火) 10:30-12:30

●**会場**…エコとしま<生活産業プラザ>（豊島区東池袋1-20-15）※JR・東京メトロ、東武東上線、西武池袋線「池袋駅」より徒歩7分 ●**駐車場**…なし ●**講師**…アトピーラボ、理学博士・田中伊都子さん ●**参加費**…無料 ●**定員**…50名 ●**受付締切**…8月21日（金） ●**お問合せ**…CSR推進部・小木曽（おぎそ）

※託児あり（定員3名以上8名以内）。イベント時間中の託児料金：1,500円。
※託児希望者が8名を上回る場合は、託児サービスのみの抽選をする可能性があります。

No.04 バランゴンバナナの秘密を知ろう

バナナの裏側に隠された意外と知らない事実　試食付！

一般のバナナは、労働環境、多国籍企業による土地集約、農薬や化学肥料の使用などといった問題があると言われています。バランゴンバナナは安全なだけではなく、フィリピンの小規模農民を支えるための農産物です。現地スタッフが撮影した映像を見て、食べて、学ぶ講座です。

バナナの追熟方法も学べます。

2015.9.12(土) 10:00－12:00

●**会場**…大地を守る会六本木事務所・3階会議室（港区六本木）※東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」3番出口より徒歩5分　※エレベーターはありません。●**駐車場**…なし ●**講師**…オルター・トレード・ジャパンバナナ担当者 ●**参加費**…無料 ●**定員**…20名 ●**受付締切**…8月28日（金）●**お問合せ**…CSR推進部・豊島

No.05 ダンボールコンポスト入門講座

生ごみから堆肥を作ろう！ スターターキット付

家庭で出た生ごみをダンボール箱で堆肥にする「ダンボールコンポスト」。ベランダなどで簡単にでき、回収に出すごみも減り、一石二鳥です。入れてはいけないものは貝殻のみで、あとはカビていても腐っていてもOK。11月にアフターフォロー講座も予定していますので、ぜひ2回合わせてご参加ください。

ダンボールコンポスト

2015.9.5(土) 10:30－12:30

●**会場**…川崎市中原市民館・実習室（川崎市中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー1・2階）※JR南武線「武蔵小杉駅」北改札（南武線口）・東口より徒歩3分 ●**駐車場**…なし ●**講師**…環境を考え行動する会 ●**参加費**…2,200 円 ●**定員**…30名 ●**受付締切**…8月21日（金） ●**お問合せ**…CSR推進部（担当：大地を守るエコ研究所・梁田）

No.06 簡単でおいしいお抹茶の点て方

だいちサークルイベント

家庭でも簡単。夏の疲れを癒すお抹茶の会

習ったことがなくても、家庭で簡単においしくいただけるお抹茶の点て方を、表千家教授・柴田宗美さんに教えていただきます。暑さで疲れた心身を一服のお茶で癒しましょう。お菓子は毎年恒例「和菓子処清野」の上生菓子。安心安全な材料にこだわったお菓子です。

講師の柴田宗美さん

2015.8.24(月) 10:00－12:00

●**会場**…川崎市中原市民館第1会議室 ※JR南武線「武蔵小杉駅」北改札（南武線口）・東口より徒歩3分 ●**駐車場**…なし ●**講師**…柴田宗美さん ●**参加費**…500円 ●**定員**…20名 ●**受付締切**…8月14日（金） ●**お問合せ**…CSR推進部・鈴井

No.07 野菜のうまみたっぷり♪“重ね煮”ランチを食べておいしさのヒミツを学ぼう

野菜がおいしくなる“重ね煮”調理デモンストレーションを見られます

藤原恵美子さん主宰「野菜と藤原」がプロデュースした“重ね煮”のカフェレストラン「CAFE RUNWAY」が今春オープンしました！“重ね煮”は調味料を加えずに野菜がおいしくなる順番で重ねて煮る、素材の味を最大限に引き出す調理法。できあがりは驚くほどおいしく、食べていると心が落ち着くほどです。こちらのレストランでは、大地宅配の野菜・食材を中心にご使用いただいています。

今回は、木のぬくもりがある店内で調理デモンストレーションを見たあと、重ね煮のランチをいただきながら藤原さんのお話を聞きます。お友だち、ご家族とぜひお越しください。

季節の野菜で重ね煮デリランチ

2015.9.13(日) 11:00-13:00

●**会場**…CAFÉ　RUNWAY（横浜市都筑区すみれが丘13-3）※横浜市市営地下鉄ブルーライン「中川駅」より徒歩10分、東急田園都市線「鷺沼駅」正面改札口を出て 4番乗り場よりバス（鷺01、鷺03、04、鷺05）で「すみれが丘」下車 ●**駐車場**…なし ●**講師**…藤原恵美子さん ●**参加費**…会員、お友だち、ご家族：1,500円、一般：2,700円 ●**定員**…15名 ●**受付締切**…8月23日（日） ●**お問合せ**…CSR推進部・小木曽（おぎそ）

「CAFÉ　RUNWAY」ホームページ
cafe-runway.yokohama

講師 藤原恵美子さん

子どもの偏食に悩んだ時に”重ね煮”に出会う。食と向き合うことで、心も体も生活も変わることを体験し、首都圏で唯一、重ね煮を本格的に学べる料理教室「野菜と藤原」を主宰。

No.08 「オーガニック★サマーパーティー」しませんか？

特典★食材【5,000円分無料】プレゼント！

8・9月　月～土曜日

10:00～17:00の間で2～3時間

あつ～い夏が始まりましたね！ お友だちと一緒に「オーガニック★サマーパーティ」で暑さを吹き飛ばしませんか？ 心と体を元気にしてくれる食材で、夏の楽しい思い出をぜひお作りください♪

そうめんパーティーはいかが？

●**会場**…お申込会員様、またはお友だちのご自宅（送料お得便エリア内） ●**定員**…会員様＋会員でないお友だち2名から※当日大地宅配のスタッフ1名がお伺いし、食材・宅配についてご案内します。スタッフの滞在時間は約30分～1時間です。 ●**お申込み**…ご希望日の10日前まで。日時をお知らせください。 ●**お問合せ**…大地宅配サポートセンター TEL：0120-158-183

Email：support@takuhai.daichi-m.co.jp

No.09 伝統的な油づくりを学び味わう

いのちのタネまき講座～第３回「なたね油」

継承したい食材と食の現状について学ぶ連続講座。今回は食料ジャーナリスト・手島奈緒さんの「遺伝子組み換え作物ついての話」で現状を学び、なたね油を使った料理を料理家・井上穹子（ひろこ）さんに学びます。

2015.10.1(木) 13:00-16:00

●**会場**…大地を守る会六本木事務所・3階会議室（港区六本木6-8-15）※東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」3番出口より徒歩5分　※エレベーターはありません。●**駐車場**…なし ●**講師**…料理家・井上穹子（ひろこ）さん、食料ジャーナリスト・手島奈緒さん ●**参加費**…大人（中学生以上）1,000円 ●**定員**…30名 ●**受付締切**…9月4日（金） ●**お問合せ**…CSR推進部・秋元

古着回収のお願い～パキスタンのスラムの学校支援にご協力ください

配送車での回収も行います。宅配をご利用の方は、9月28日週に配布する別チラシもご覧ください。

NPO法人「JFSA（日本ファイバーリサイクル連帯協議会）」はパキスタンのスラムの学校の運営を支えるために、現地の人たちと協力して古着の販売事業を行っています。古着を出す人たちとその古着を利用する人たちが、お互いにつながったリサイクルをすすめています。「フリマでも売れる」古着の回収にどうぞご協力をお願いいたします。売上げは支援金、活動資金とさせていただきます。

●**受付期間**　2015年9月18日（金）～同年10月21日（水）　※期間内必着。
●**問合せ先&送り先**　JFSA海外衣料支援センター　※木曜定休。
〒260-0001 千葉市中央区都町3-14-10
●**電話番号**　043-234-1206

●**回収しているもの**

【新品・中古OK】
※汚れ、シミ、虫食い、毛玉がなく、洗濯済みであるもの。※下記の品物のみ受け付けています（受け付け品目は毎回変わります）。※ご家庭のもの以外についてはJFSAに直接ご相談ください。

衣類以外のもの●毛布、シーツ、タオルケット、カーテン（レースもOK）、掛敷布団カバー、服地（2メートル以上）、ハンカチ・タオル類（新品は分けてください）、スカーフ、ストール、帽子（麦わら帽子は不可）、ベルト、テーブルクロス（大）、靴（新品同様のもの。上履きは不可）、ポーチ、財布、バッグ・リュック類（傷み、カビにご注意ください）、大人用手袋（新品同様のもの）

女性用衣類●国内販売用のため、新品に近いものに限って集めています。パキスタンでは売れません。半袖ブラウス・半袖カットソー、長袖ブラウス・長袖カットソー、ワンピース、セーター類（季節問わず。毛玉、ちぢみ、虫食い、汚れにご注意ください）、スパッツ、コート、ジャケット類（スーツの上着は不可）、ベスト、マタニティウエア（上記の品目なら可）

男性用衣類●特に男性用衣類は不足しています。よろしくお願いいたします。
Tシャツ（半袖・長袖）、カジュアルシャツ（半袖・長袖）、ワイシャツ（半袖・長袖）、ポロシャツ（半袖・長袖）、ジャージ（※学校用不可）、コート・ジャケット類、スーツ（背広上下＊クリーニング済みのもの）、ベスト、セーター類（季節問わず）、ジーンズ、ハーフパンツ　※今回はズボンの受付はジーンズのみになります。スラックス、スーツ用ズボンも受け付けしていません。

子ども・ベビー用衣類●サイズにご注意ください。夏物（女児は120まで）、冬物（120まで）、下着類（オムツカバー、布オムツも可）、靴（新品同様のもの）、新品靴下、甚平・ゆかた

和服類●国内販売します。シミ、汚れにご注意ください。着物（絹・綿・麻のみ　※ウール・化繊は不可）、帯（絹のみ）、反物と着物地（絹・綿・麻のみ20×30センチ以上）、ゆかた（※寝間着は新品のみ）、風呂敷（ちりめん・絹・木綿のみ）、和装小物

【新品のみOK（中古は受け付けできません）】
靴下、エプロン、女性下着（ブラジャー・ガードル・ボディスーツは中古もOK）、男性下着（半袖・ランニング・ブリーフ・トランクスは中古も可）、パジャマ（未開封のもの）、毛糸・レース糸（使いかけは不可）、枕カバー

【その他（古着と一緒でもOK）】
未使用切手、未使用はがき（書き損じも可）、金券（全国共通の商品券、ビール券など）、未使用カード（テレホンカード・クオカード・図書カードなど）※換金して活動の目的に沿って使います。

【受付期間以外でもいつでもお送りいただけるもの】
毛布、タオルケット、ハンカチ、新品靴下、新品下着（ブラジャー・ガードル・ボディスーツは中古も可）、男性半袖シャツ、タオル類、バッグ・リュック類

上記の受け付け品目以外のものは受け付けていません。送らないでください。上記の受け付け品目に含まれるものであっても下記のものは受け付けていません。特にご注意をお願いします。
中古パジャマ、中古寝間着、ガウン、布団、枕、クッション、マット類、女性スカート、キュロット、女性スーツ、男性スラックス（スーツ用ズボン）、スキーウェア、作業着、制服、事務服、柔道着

●**送り方**
大きい布で包むか、紙袋かゴミ袋（薄いものは二重で）などに入れてヒモをかけ、郵便や宅配便でお送りください。段ボール箱不可。包装は簡便にお願いします。
★送料はご負担ください。
★クリーニングのビニール、ハンガーは外してください。
★送り状のお名前のあとに「（大地を守る会）」とご記入ください。
★送り状の品名の欄に重量をご記入ください（例：衣類8キロ）。
★和服を送られる場合は「和服入り」とご記入ください。
★古着を送られた方には、次回の回収案内を直接JFSAからお送りします。
★JFSAに直接お持ちいただく場合：受け付け期間中の日曜日午後1:00～5:00のみ。
※事前連絡が必要です。

キリトリ線

8月号　参加申し込み書　→ CSR推進部行

イベントNo	イベント名	交通手段（○をつけてください）
		車　電車（バス）
名　前	会員番号	
	TEL　（　　）	
参加人数	参加者全員の名前（お子さんは年齢・学年も）	
名		
備　考		

※複数のイベントにお申し込みの場合は、「別紙」や「連絡便」などに必要事項をご明記いただき、ご提出ください。

キリトリ線

イベントのお申し込み方法

「参加申し込み書」を切り取り、注文書ケースに入れてご提出いただく（締切日当日提出分まで）か、大地を守る会のホームページ「イベント情報」よりお申し込みください。

大地を守る会のホームページ「イベント情報」：**www.daichi.or.jp/info/event/**

【ご家族、お友だちもご参加いただけます】
お申込みいただく大地宅配定期会員の方のご家族やお友だちもご参加いただけます。

【大地宅配定期会員について】
「大地宅配定期会員限定」マークのあるイベントは、大地宅配の定期会員の方のみが対象です。大地宅配の定期会員については、詳しくは大地を守る会のホームページなどをご覧ください。

【詳細のご案内について】
お申込みいただきましたイベントの詳細案内は（受付の不要な一部イベントを除き）、**開催日の10日～1週間前くらいまでに郵送または電子メールにてお送りいたします。**ご応募多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選の結果はご連絡いたします。

【お申し込み時の個人情報の取り扱い】
お申し込みの際の個人情報は、イベントなどの実施のために利用いたします。ご同意の上、お申し込みください。個人情報に関する詳細は、大地を守る会のホームページ(http://www.daichi-m.co.jp/corporate/privacy_policy/)をご覧ください。

【写真撮影について】
イベントの様子は、写真で記録をとらせていただきます。撮影した写真は、大地を守る会のホームページやカタログ、グループ会社の広報媒体に掲載させていただく可能性があります。予めご了承ください。

イベント情報に関するお問合せはCSR推進部へ　お電話 **043-380-7760**　FAX **043-213-5513**

発行元：〒261-8554　千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟21階
株式会社大地を守る会　CSR推進部